

「かかりつけ歯科医」の機能を考える

“フォーラム8020 '96愛知”報告書の送付に当って

平成元年に8020運動が提唱されて以来、全国で様々な8020運動が展開され、同時に多くの調査、研究が行われてきました。その結果8020達成者は未達成者に比べて骨密度が高く、歯周疾患も無く、全身の健康度も高い、従っ病気に患る事も少なく、医療費も安く済んでいる事等が分かってきました。若い時代からこの運動を熱心に推めることで8020達成者が増えれば、2025年時点で予測される520万人の要介護老人を大幅に減らし、明るい活力に満ちた長寿社会を実現できるものと思われます。8020運動は21世紀の少子高齢社会に対応する我々の夢をのせた旗印であり、かかりつけ歯科医とはその実現に向けて努力する我々の雄姿であると云えます。

平成8年、横浜ワークショップで始まった厚生科学研究「口腔と全身の健康についての研究」は国立感染症研究所が主管して1.8020者のデータバンクの構築。2.咬合状態に起因する他臓器の異常。の2つのテーマで進められています。データバンクの構築については、80才老人の健康調査（岩手県、福岡県、新潟県、愛知県）が始まっており、他臓器の異常については(1)口腔疾患と肥満、糖尿病。(2)口腔疾患と骨粗鬆症。(3)顎関節異常と頭痛、肩こり、及びマウスガード。(4)誤嚥による肺炎。(5)老人とADL（仙台市、熊本市、愛知県）。(6)摂食と脳の老化。の6つの課題を設定し、大学病院と大学研究室、歯科医師会が協力して各研究班を編成し、臨床的、実験的、疫学的手法を用いた研究が進められています。

平成4年に始まった厚生省の「8020運動推進事業」は平成8年で一応全国を一巡し、地域保健法の施行された今年、平成9年からは、新たに「歯科保健推進事業」として1.成人歯科保健事業。2.かかりつけ歯科医機能支援事業。3.在宅要介護者歯科保健事業。4.8020運動推進特別事業。の4つを全国の市町村で行う事業として予算化、スタートさせました。この一連の事業展開は厚生省と日本歯科医師会が協力し、長期計画に基づいて8020運動を推進している事を示しており、全国の802の郡市区歯科医師会は自信を持って3250余の全市町村で8020運動を推める必要があると考えます。この運動の次なる展開として“8020推進財団”構想が日歯から打ち出されており、国民の健康作りに参加して大きな役割を果たすことが期待されます。

フォーラム8020の仕事は市町村における8020運動を地道に進めることです。平成6年スタート以来、8020の里作りをテーマに静岡では「精度管理」を取り上げ、評価しながら前進する地域歯科保健ということで“8020健闘資料”によってモデル的な事業を提示、盛岡では“六才臼歯の保護育成運動”の事業報告を行い、成長期の子供の歯科保健のターゲットを第1大臼歯に絞ることを提言、愛知では「かかりつけ歯科医」の機能について論議し、我々の側の8020運動に対する認識を深めようと提案してます。これからも常に原点に立ち返って8020の里作りを、かかりつけ歯科医のいる8020診療所の展開を進めたいと考えています。どうか今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

フォーラム8020幹事会
代表 坂井 剛